

高 16 期 植田さん 天王寺高校水泳部現役部員に講演

2019 年 5 月 11 日（土）午後、天王寺高校にて、高 16 期の植田さん（桃陰水泳クラブ前会長、天王寺高校同窓会元副会長）に現役水泳部員を対象にご講演いただきました。

天王寺高校水泳部は 1922 年に創部され、今年で 97 年という古い歴史を持ちますが、その創部時代の話から、初代のプールは部員たちが手作業で土を掘って作ったこと、水球での活躍、今も旧校歌である黄塵はるかが歌い継がれている背景、現在のプールサイドに残されているレリーフや「8」の数字の意味など、諸先輩が取り組んできた様々な活躍や活動をお話ししていただきました。



現役部員にとってはまさに隔世の感がある話が多かったと思いますが、水泳シーズン前の非常に良い刺激になったのではないかと思います。

（文責：高 22 期 小林博也）

《現役部員の感想》

7 2 期 3 年 男子（主将）

先輩方が代々作り上げてきた天高水泳部の歴史に触れることができるとても有意義な時間でした。特に印象的に感じたこととして、昔はプールを作るために地面に穴を掘ってそこに水を流し込んでいたのは衝撃でした。また、現在のプールの端にある「8」と書かれたタイルが、昔は 8 レーンまで存在したことを示すために残されたのを知り、現在 6 レーンで泳いでいるので羨ましさを感じました。100 周年を目前としている天高水泳部の歴史を後世に残すことがいかにかけがえのないものかを学んだことで、これから僕たち現役生も新たな歴史を刻めるように日々の練習を重ねていき、OB、OG となった時に輝かしい歴史を伝えていきます。

7 2 期 3 年 女子

今回の講演では、天王寺高校水泳部に関わる、様々な貴重なお話をいくつも聞くことができました。水泳部の起源や、水泳部が学校の中心となって運動部を引っ張る存在だったこと、以前飛び込み板があり飛び込みにも取り組んでいたこと、そして、水球にとっても力を入れて全国優勝まで成し遂げていたことにはとても驚きました。このようなたくさんのお話を受けて、私たち現役生は多くの先輩方のご支援を受けて、今頑張ることができているのだと実感しました。卒業したら今度は自分たちが後輩を応援していきたいです。

以上